

# 実践経営学会会報

## ご挨拶

実践経営学会会長 夏目 重美 (元亜細亜大学教授)



世界中に新型コロナウイルスの蔓延する中、2020年度実践経営学会会報第1号（通巻95号）をお届けいたします。先ずは緊急事態宣言下、異例の新年度対応とご心痛に対峙、奮闘されておられる会員各位に、心からの敬意とお見舞いを申し上げます。

昨年度全国大会（金沢星稷大学）の理事会・総会におきまして、実践経営学会会長にご選任いただきました夏目重美でございます。元より、このような要職の任にふさわしい者とは到底思えませんが、前会長、井形浩治先生の全面のご支援により、今日を迎えることとなりました。また、新たな常任理事の先生方をお迎えし、合議に基づく学会業務の分担体制を構築していただきました。これにより会長職業務も大幅に軽減され、自己の役割に邁進する決意を新たにすることができました。全国の会員各位におかれましても、改めて新体制へのご協力とお力添えのほど、切にお願い申し上げます。

実践経営学会は、2017年度に井形会長の下、設立50周年の筋目の行事の一環として記念講演会を開催、さらに翌年度、『実践経営学会50周年記念誌－新たな経済成長と実践経営の役割～Search Better Management, More Useful Practice－』を発刊し、これを機に新たな50年、すなわち設立100年に向けて歩み始めました。

100年と言えば記憶に新しいのは、ロンドン・ビジネススクールのリンダ・グラットン、アンドリュウ・スコット両教授（訳・池村千秋）による『LIFE SHIFT－100年時代の人生戦略』（東洋経済新報社、2016）の刊行が話題を集めたこともその一つです。2017年には、政府による『人生100年時代構想会議』が発足、有識者としてリンダ・グラットン氏を招聘しています。2019年12月には、首都大学東京（現・東京都立大学）主催による、同氏の特別講演会「100歳大学」も開催されました。また実践経営学会におきましては、100年時代を先取りするかのように、長年、会員識者による「100年を超える老舗の研究」が継続されていることはご承知のとおりです。個人レベルの超高齢化の進捗は、一人一人の生き方の見直しにとどまらず、あらゆる組織や社会の在り方をも変容させようとしています。

新たな船出を迎えた実践経営学会ではありますが、内外の課題は山積みと認識しています。内には新規会員の伸び悩みによる予算規模の縮小、これに随伴する業務運営の困難性、外にはますます進展するグローバル社会、多様性社会、AI社会、そして持続可能社会の実現など、実践と理論の融合を踏まえた実践経営学会に対する要請は増幅の一途です。威儀を正して、これらの課題解決と社会の要請に応えなければなりません。国連の呼びかける17の持続可能な開発目標(SDGs)は、広範な領域を柔

らかに包含する、実践経営学会会員各位の個性的研究実践の中にこそ、それぞれの目標達成の萌芽を見出すことができるものと確信しています。

国立劇場のロビー正面を飾る『鏡獅子』の作者、107歳の天寿を全うした木彫家、平櫛田中（1872～1979）は、白寿の折に『六十七ははなたれこぞうおとこごかりは百から百から』（小平市平櫛田中彫刻美樹館）と揮毫しています。平櫛田中に従えば、実践経営学会の50年は「はなたれこぞう」にも至っていないこととなります。超高齢化社会何するものぞ、新進気鋭の会員各位は言うに及ばず、これまで実践経営学会を育て、支えて来られた多くの先輩会員各位におかれましても、一丸となって、実践経営学会の未知の航海をお導きいただきますよう、衷心よりお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

遙かなる実学の道福寿草 重美

2020年4月21日 記

## 実践経営学会第63回大会のご案内

### ご挨拶

第63回大会実行委員長 **佐藤 敏昭** (名古屋経済大学)

実践経営学会第63回大会は、2020年9月4日(金)～6日(日)の3日間、名古屋経済大学（名古屋サテライトキャンパス）において、下記の統一論題のもとに開催されます。

本学における全国大会は、夏目重美新会長の下、新たな学会執行部初の開催となります。残念ながら、周知の様な新型コロナウイルスの影響の下、例年よりも若干プログラム内容を簡略化せざるを得ません。ただし、限られた制約内で、力の限り皆様をお迎えしたいと存じます。多くの方々のご参加をお待ちしております。また自由論題におきましても、多数のご報告をお待ちしております。ご期待下さい。

開催日程：2020年9月4日(金)、5日(土)、6日(日)

開催場所：名古屋経済大学（名古屋サテライトキャンパス）

〒450-0082 愛知県名古屋市中村区名駅4-25-13（名古屋駅より徒歩7分）

電話 052-569-2882

#### 【統一論題】

「地域活性化と地域活性化方策の再検討 ——大学・自治体・企業間における連携」

## 【解 題】

大学と地域企業との地域連携が叫ばれて久しくなりましたが、現状としては、大企業の研究開発部門と一部の上場会社との連携に止まっているようです。他方、全国的にみると、地方の小規模大学と地域との連携活動の低迷感は未だに拭えません。その問題点を改めて浮き彫りにし、あるべき方向性を模索します。本来、地方創生ないし地域活性化は、本来的には自治体独自の目標ですが、自治体事業としては、いきおい大学や企業との連携を余儀なくされるでしょう。昨今では、「企業版ふるさと納税」の成功例や、大学と自治体との連携が実を結んでいる事例も、マスコミなどから紹介されています。開催校・名古屋経済大学では、地域連携センターを設け、「犬山学」としての取り組みなど犬山市や小牧市との地域連携ならびに地域企業との連携に努めています。基調講演やパネルディスカッションでは、本校の取り組みや実績を紹介し、参加者の皆さまから問題点や課題などを指摘いただき、国全体の問題として議論していただくことを念頭に主題とさせていただきました。多くの会員の参加をお待ち申し上げます。

## 【プログラムの概要】 \* 詳細なプログラムは、6月下旬にお届けします。

- 9月4日（金）Excursion（学会研修ツアー）は中止。

17：30 理事会（名駅サテライトキャンパス（以下、「SC」という）3階・談話室）

- 9月5日（土）

- 1) 参加受付：9：30～（SC1階 ロビー）
- 2) 自由論題：10：00～12：10（SC9階93号室）
- 3) 開会式・統一論題シンポジウム：（SC10階「講堂」）

13：30 開会式

13：35 統一論題シンポジウム

### <基調講演>

13：45 第1講演（案） 犬山市長・山田拓郎

「犬山市と名古屋経済大学の連携」

14：30 第2講演（案） 名古屋経済大学長・佐分晴夫

「地域連携活動としての『犬山学』ほか具体的連携方針」

15：30 パネルディスカッション

「名古屋経済大学における自治体・企業との連携の現状・問題点・課題」

17：30 研究・情報交換会 …新型コロナウイルスの状況を見て開催の可否を決めます。

- 9月6日（日）

- 1) 自由論題：10：00～12：10（SC10階「講堂」）

12：20～ 会員総会（SC10階「講堂」）

例年施行のフェアウエル・パーティーは中止。

## 【ホテルのご案内】

ホテルのご案内については、新型コロナウイルスとの関係も含め、検討中です。開催校は名古屋駅から至近距離にあり、ビジネスホテル等も近隣に多くありますが、このたびのご案内では、ご紹介できないことをお許しください。

# 第63回全国大会 自由論題報告者の募集について

第63回全国大会における自由論題報告者を下記の要領で募集いたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

2020年4月20日

## 1. 応募資格

### (1) 会員であること

(非会員との共同報告は認められておりませんので、応募に際しては入会手続きをお願いいたします)。

### (2) 2019年度までの年度会費に未納がないこと(共同報告者も同じ)。

### (3) 2020年度会費が、報告論文の提出期限2020年6月28日(日)までに納入されていること

(共同報告者も同じ)。

※在外会員で報告をご希望の方は、

本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお問い合わせください。

## 2. 応募方法

下記の項目を明記の上、下記の「実行委員会アドレス」へお申し込みください。メールの件名は「JSAM第63回大会自由論題報告応募」としてください。共同報告の場合は、共同報告者の(1)、(2)、および主たる報告者の(5)についても明記してください。なお、報告日時のご希望はお受けできません。

### (1) 氏名(ふりがな)

### (2) 所属機関名・肩書(大学院生の場合は「課程」を明記)

### (3) 報告テーマ

### (4) 報告論文の概要(400字程度)およびキーワード(3~4語)

### (5) 連絡先(メールアドレス、郵便番号、住所、電話・FAX番号)

※Eメールを日常使用されない方は、期限までに大会実行委員会あてに郵送でご応募ください。

※自由論題報告は、9/5(土)午前、および9/6(日)午前を予定しています。

## 3. 応募期限 2020年5月25日(月) 17:00必着

※これを受けて、常任理事会へのプログラム案の策定、その他の事務手続きに入りますので、期限厳守でお願いいたします。

## 4. 報告論文の提出期限 2020年6月28日(日) 厳守

提出期限までに報告論文が届かない場合には、『実践経営学研究』への掲載ができなくなるとともに、大会プログラムに報告予定が記載されていても、大会当日の報告は認められないことになっております。

加えて、次年度における全国大会での報告についても制約を受けることになっておりますのでご注意ください。

## 5. 報告論文の提出

本学会の全国大会におきましては、慣例として、いわゆる「大会予稿集」「レジュメ集」などは作成しておりません。代わりにフルペーパーの公式論文集『実践経営学研究』を編集・刊行し、大会当日に配布することになっております。そのため、報告者は、作成した報告論文を、「実行委員会アドレス」まで、メール添付にてお送りください。メールの件名(表題)は「JSAM第63回大会報告論文送付」としてください。

また、編集作業の都合上、報告論文はWordによる作成をお願いいたします。校正の機会は設けておりません。

なお、Eメールを日常使用されない方は、報告論文を紙媒体、またはCD-ROM等の電子媒体に書き込み、期限までに大会事務局あてに郵送でご提出くださるようお願い申し上げます。

送付先(大会事務局)：〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-25-13

名古屋経済大学 佐藤敏昭研究室内

第63回大会実行委員長 宛

## 6. 報告論文の執筆要領

(1) A4版横書き(1ページは40字×40行)で8～10ページ(図表、注釈、参考文献等を含む)。

(2) 1ページ目は、まず、下記の項目を明記し、□(罫線)で囲む

(1行に入らない場合は、ポイントを下げ調整する)。

① 論題名(メインタイトル)

和文 14ポイント(明朝)、英文半角 10.5ポイント(Century)

② 副題(サブタイトル)

和文 12ポイント(明朝)、英文半角 10ポイント(Century)

③ 所属・氏名

和文 11ポイント(明朝)、英文半角 10.5ポイント(Century)

(例)

<p>～のマネジメントに関する事例研究</p> <p>A Case Study of Management of～</p> <p>近畿大学経済学部□□□□□田中□敬一</p> <p>Kindai University□□□□Keiichi Tanaka</p>
--

(3) 最終ページの36行目以降は余白とする。

(4) 本文構成は、「はじめに」、「章・節(1., 2.…)」、「項((1), (2)…)」等とする。

(5) 本文中に、目次、構成等の表示はしない。

(6) 本文は10.5ポイント(明朝)とし、引用部分の表示、図・表の出展表示、  
文末注釈については10ポイント(明朝)とする。

(7) 表のタイトルは「表1 …」とし、当該表の上部に表記する。

(8) 図のタイトルは「図1 …」とし、当該図の下部に表記する。

※[6.報告論文の執筆要領]に関するお問い合わせは、本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお願いします

## 7. Cancellation Policy

大会での報告機会を確保したにもかかわらず、大会当日・当時刻に、相当の理由なく欠席されますと、次年度における全国大会での報告ができなくなります。欠席せざるを得ない事情が発生しましたら、できる限りすみやかに実行委員会までご連絡ください。

## 8. その他

何かご不明な点がありましたら、「実行委員会アドレス」、もしくは本部事務局(jsam.headoffice@gmail.com)までお問い合わせください。

第63回全国大会実行委員長 佐藤 敏昭 (名古屋経済大学)

同大会実行委員会事務局長 萩原 俊彦 (名古屋経済大学)

井藤 哉 (宮崎大学)

実行委員会 E-mail:zsato@nagoya-ku.ac.jp

以上

## 会員の異動(入会・退会) 2019.10.1~2020.3.31

### 入会会員 2名(敬称略)

お名前	ご所属	推薦人	担当支部	承認日
渡辺 英樹	渡辺税務会計事務所	平野文彦 細沼霞芳	関東	2019/10/1
竹原 正篤	法政大学人間環境学部特任准教授	長谷川直哉(法政大学) 松尾敏行(日本経済大学)	関東	2020/4/1

## 各地での支部活動

本学会では、年次の全国大会開催のほかに、これを補うことを目的として、全国の8都市に支部が置かれており、適宜(年に2回程度)、実地研究、地域研究、研究発表、会員相互の交流・親睦等の活動が行われています。

会員はすべて住居地あるいは勤務地等によって、8支部のいずれかに所属することになっており、各支部長より、支部活動の予定が、eメール、又は郵便等の方法によって伝えられます。

会員は、配属された支部会への参加が義務づけられるものでもなく、原則として、全国のどこの支部活動へも参加ができることになっています。ただし、プログラムの内容や準備の都合上、参加できないこともあります。またその時の天候、交通、その他の事情により、活動が中止または順延されることがありますので、不意の参加は避けてください。あらかじめ当該支部長にメールアドレス等により、事情をお問い合わせください。

なお、各地の支部活動は、実践経営学会のホームページにて、すべての会員に対して周知されています。

なお、支部会における研究報告は、1年に1回、学会本部から刊行される機関誌『実践経営』への投稿資格の一つとなることが定められています。積極的な参加をお勧めします。

在外会員の方は、本部事務局jsam.headoffice@gmail.comへお問い合わせください。

各地の支部の概要は以下の通りです。

#### 北海道支部

支部長 菊池 真一(北海商科大学)  
連絡先 TEL&FAX:011-577-9278  
E-Mail: jsam.hokkaido@gmail.com

#### 中部支部

支部長 佐藤 敏昭(名古屋経済大学)  
事務局長 萩原 俊彦(名古屋経済大学)  
連絡先 E-Mail: jsam.chubu@gmail.com

#### 東北支部

支部長 丹羽 浩正(八戸学院大学)  
連絡先 E-Mail: jsam.tohoku@gmail.com

#### 関西支部

支部長 田中 敬一(近畿大学)  
事務局長 稲田 賢次(大阪学院大学)  
連絡先 E-Mail: jsam.kansai@gmail.com

#### 関東支部

支部長 夏目 重美(亜細亜大学)  
連絡先 E-Mail: jsam.kanto@gmail.com

#### 中国・四国支部

支部長 小原 久美子  
(県立広島大学経営情報学部)  
連絡先 TEL&FAX:082-251-9743  
(小原研究室直通)  
E-Mail: jsam.chuugoku.shikoku@gmail.com

#### 北陸支部

支部長 奥村 実樹(金沢星稜大学 経済学部)  
事務局長 谷畠 範恭(金沢星稜大学女子短期大学部)  
連絡先 E-Mail: jsam.hokuriku@gmail.com

#### 九州支部

支部長 根岸 裕孝(宮崎大学地域資源創成学部)  
事務局長 丹生 晃隆(宮崎大学地域資源創成学部)  
連絡先 E-Mail: jsam.kyusyu@gmail.com

## 実践経営学会事務局からのご連絡

### ■住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、  
jsam.headoffice2@gmail.com（会員情報管理専用メールアドレス）までご連絡ください。

### ■第53期 会費納入のご案内

間もなく、第53期の会費納入のご案内を皆様にお届けしますので、よろしくお願ひいたします。  
学会活動は会員の会費によって支えられております、全国大会および各地域支部会における報告資格は、「年会費を納入済みの会員」となっております。ご注意ください。  
お問い合わせは、jsam.headoffice2@gmail.comまで。

### ■各支部からのご連絡などは、学会ホームページをご覧ください

実践経営学会ホームページ（<http://www.jsam.org/>）では最新情報を随時掲載しております。  
各支部からの情報は、ホームページをご活用ください。

### ■全国大会の詳細について

更に詳しい内容は本会報次号でお知らせいたします。

---

**実践経営学会**

**JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT**

---

発行日：2020年5月15日

発行所：実践経営学会

発行者：会長 夏目重美

【本部】 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術大学院大学 板倉宏昭研究室内

【本部事務局】 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術大学院大学 板倉宏昭研究室内

制作：（株）マインド